≪基本理念≫医学への精進と貢献、病者への献身と奉仕を旨とし、その時代時代になしうる最良の医療を提供すること

2016. 1
TORANOMON
VOL. 150

とらのもん

URL：http://www.toranomon.gr.jp

日本医療機能評価機構

本院公開講座

『肺癌・転移性肺腫瘍・縦隔腫瘍等の
胸腔鏡下手術を安心して受けていただくために
～胸腔鏡下手術5000例以上の実績を踏まえて～』

日時：2016年 1月16日（土）14：00～15：30
場所：本院　本館３階　講堂（入場無料）
講師：呼吸器センター外科医長　藤森　賢

本院治験公開講座

日時：2016年3月12日（土）14：00～15：30
場所：本院　本館３階　講堂（入場無料）
講師：臨床腫瘍科　部長　高野　利実

※　諸般の事情により、変更・延期・中止になることがございます。
お電話・ホームページ等で開催の有無をご確認ください。

【本院　中央採血室からのお知らせ】
現在、中央採血室がたいへん混雑して御迷惑をおかけしております。
午後の２時以降が比較的空いています。主治医とご相談の上、可能な場合は午後の採血をお勧めいたします。

今月の特集

- 新年のご挨拶（院長）
- 新年のご挨拶（分院長）
- 本院公開講座
  『肺癌・転移性肺腫瘍・縦隔腫瘍等の胸腔鏡下手術を安心して受けていただくために～胸腔鏡下手術５０００例以上の実績を踏まえて～』
- 総合相談センターのご案内
- 人間ドックの割引

『迎春』

国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 TORANOMON HOSPITAL

【虎の門病院 本院】
☎03-3588-1111（代）

【虎の門病院 分院】
☎044-877-5111（代）

【さいたま診療所】
☎048-601-1347

新年のご挨拶

院長　大内 尉義

明けましておめでとうございます。
本年もよろしくお願いいたします。

昨年はかつてないほど世界中が騒然とした一年でしたが、わが国ではノーベル賞をお二人の科学者が受賞されましたし、ラグビーワールドカップで快進撃を続けるなど、明るいニュースで沸いた年でもありました。本年も皆様方にとって、またわが国にとって良い一年になりますよう祈念しております。

さて、虎の門病院ですが新病院建築計画がまずまず順調に進んでおります。現在、予定敷地にある国立印刷局の建物の解体工事が行われていますが、本年7月には着工の運びとなるものと考えております。以前お伝えした通り、新病院は地上19階建て、総延べ床面積約86,000平米という大規模な病院になる計画です。本館1階にその模型を展示しておりますので、まだご覧になっていない方はご来院の折にぜひお立ち寄りください。新病院は、患者の皆様方に期待される虎の門病院の高度医療を支え、①国際都市機能の強化、②防災対応力の強化、③環境への配慮、④将来への柔軟な対応力、⑤総合力の高い病院、⑥すべての人に快適な病院、⑦院内感染防止の徹底、の７つを基本方針としております。新病院は現在の病院の隣接地に建てられますので、診療の継続性という意味で皆様にご迷惑をおかけすることは基本的にないと考えておりますが、工事等に伴いご不便をおかけすることがあれば、なにとぞご理解いただければ幸いに存じます。

さて、昨年7月、虎の門病院に、高齢者総合診療部という新しい診療部が開設されました。わが国では高齢化がますます進み、虎の門病院でも高齢の方々の入院が増加しています。高齢の方は一人で多くの病気をもっておられることが多く、また本来の疾病に加え、認知機能の低下、嚥下障害、睡眠障害などをもっておられることもよくあります。こういった高齢の方では、ある一つの疾病のみの治療だけでなく、総合的なマネージメントが必要です。本診療部は、そのようなご高齢の入院患者さんに対応するために、医師、看護師をはじめ、リハビリ、ソーシャルワーカー、薬剤師、栄養士、臨床心理士、事務など、多職種から成る診療チームであることが特徴です。このような、基幹病院における高齢者専門の診療部門の開設は日本で初めてのことであり、本診療部の活動はわが国の高齢者医療の発展に貢献できると考えています。また、近年の認知症の増加に伴い、物忘れなどの精密検査を希望される方が増えています。このようなニーズにお応えするために、新たに認知症科という診療科を立ち上げました。こちらは基本的に外来診療が中心となりますが、虎の門病院で今まで殆ど行われていなかった認知症診療に、今後、積極的に取り組んでいく予定です。

病院の使命は、安全、安心、最高の医療を患者の皆様に提供することにあります。そのためには、新しい医療技術の導入、研鑽、さらに医療安全の徹底、接遇・サービスの向上など、多くの面で不断の努力が必要です。虎の門病院は、分院と手を携え、本年もこのような努力を続け、皆様方のご期待、ご要望にお応えできる最高の医療をお届けしたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

＜本院 新病院イメージ図（模型）＞

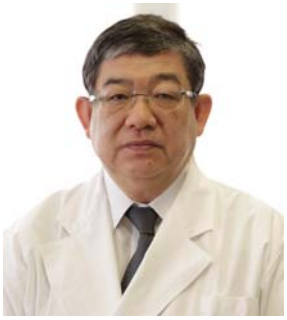
新年のご挨拶

分院長　熊田 博光

2016年明けましておめでとうございます。
本年も宜しくお願い申し上げます。

昨年は2年連続で引き続き二人の日本人の方が、医学生理学賞（大村智先生）・物理学賞（梶田隆章先生）を受賞されました。梶田隆章先生は、2002年にノーベル賞を受賞した小柴昌俊先生のニュートリノの研究を引き継がれ、ニュートリノ振動という現象をとらえることによりニュートリノに重さ（質量）があることを証明されました。医学生理学賞の大村智先生は抗寄生虫薬イベルメクチンを開発されました。アフリカや中南米の風土病である河川盲目症は、回旋糸状虫の寄生から発症する感染症で患者の約2割が失明の危機にさらされていましたが、この薬の登場により状況は劇的に改善し、今なお年間3億人の命が救われております。またイベルメクチンは犬のフィラリア症の薬としても用いられ、我々の身近にある治療薬でもあります。大村先生は受賞後の会見で“研究とは人に役立つためにある”と言われました。御祖母さまから幼少の頃より聞いていた“人のために尽くすことが大切だ”という言葉がずっと耳に残っていたということをお話しされているお姿を拝見し、医学の世界の根底というもの、特に病院という場所はそういう所だと改めて認識いたしました。

さて、虎の門病院分院では、昨年から循環器科（柴昌徳部長）が常設され、日々の診察や入院の受け入れが迅速化し、心臓カテーテル治療ができるようになりました。今年は循環器の検査が分院でも行えるように整えてまいります。透析の発祥である腎センターでは、腎のう胞の治療においても、毎月勉強会を行うなど日本の最前線を走っており、治療経験豊富な病院として多くの方より信頼されております。肝臓内科は、内服薬だけでC型肝炎ウイルスが排除できる治療薬の適応拡大がされたことにより、第二世代の内服薬の保険診療が認可され、ご高齢の方やインターフェロンの副作用により治療をあきらめていた方でも飲み薬で良好なウイルス排除率を得られる時代となりました。内科総合診療科は、現在血液内科を筆頭に、糖尿病・代謝科、呼吸器科、消化器科、女性内科が存在しております。今年は糖尿病・代謝科の医師が増員となりますので外来での診療が増やせると思います。外科系も、整形外科、外科を中心に日々の診察を行っております。また、高津・宮前両区の先生方との病診連携をさせていただいてから6年になりました。2015年10月の懇談会では放射線診断科の山名大吾部長より「画像の見方」についてミニ講演会を行いましたが、会場にあふれんばかりの多くの先生方にご出席いただきました。お陰様で分院へのご紹介をいただけるようになり、この会を重ねるごとに地域との連携も充実してまいりました。今年も外来と入院、本院と分院の連携による最新の医療が益々盛んにできることを期待しております。



今年の干支である申のようにフットワークを活かして本院、分院が一体となり『医学への精進と貢献、献身と奉仕を旨とし、その時代になしうる最良の医療』をご提供できますように本年も鋭意精進いたします。今年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

＜虎の門病院分院＞

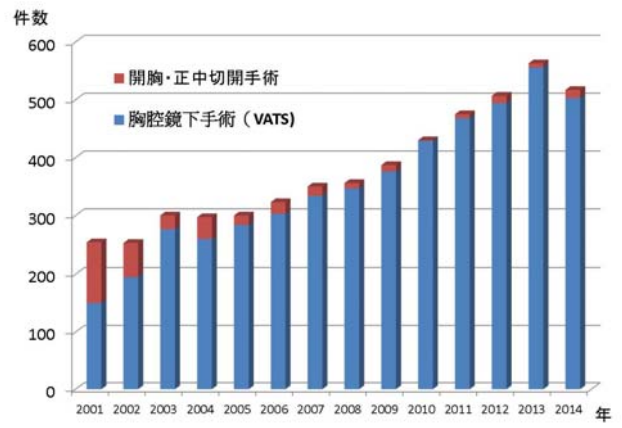
肺癌・転移性肺腫瘍・縦隔腫瘍等の胸腔鏡下手術を安心して受けていただくために
～胸腔鏡下手術5000例以上の実績を踏まえて～

呼吸器センター外科　医長　藤森　賢

1. 呼吸器外科医の行う手術

私たち呼吸器外科医は、原発性肺癌（肺から発生する癌）、転移性肺腫瘍（他臓器癌からの肺に転移した腫瘍）、縦隔腫瘍（両側肺の間に位置する縦隔に存在する腫瘍：胸腺腫等）、炎症性肺疾患（肺真菌症、非結核性抗酸菌症等）、胸膜・胸壁腫瘍（中皮腫等）、気胸・嚢胞性肺疾患（巨大肺嚢胞等）、先天性肺疾患（肺分画症等）、手掌多汗症など様々な胸部疾患に対して手術を行っています。虎の門病院呼吸器センター外科では、1999年4月に現部長の河野匡医師が当院に赴任して以降、胸腔鏡下手術（骨を切らずに胸に小さい穴を空けて行う手術）を専門として、全国の患者さんに手術を行っております（図１）。現在5名の常勤医（うち呼吸器外科指導医2名を含む専門医4名在籍）と研修医等で日々診療を行っております。

図１：当科の胸腔鏡下手術件数の割合の推移



2. 虎の門病院 呼吸器センター外科における胸腔鏡下手術の特徴(図2)

胸腔鏡下手術といってもその術式は実際には施設によって様々であり、当院では1999年以降一貫して、胸部に3か所の穴（12mm、7mm、5mm：図３）のみを空けて行う3-port胸腔鏡下手術（虎の門式と言われています）で手術を行っています。3-port胸腔鏡下手術は傷が小さく術後の回復が早いため、手術当日より飲水と夕食が可能です。また、翌日より歩行ができるため、病状によっては85歳位の患者さんまで手術を受けていただいております。手術後の入院期間は2～6日程度で、退院翌日より仕事も可能です。最近5年間では2519件の様々な疾患に対して手術を行い、うち2477件（全手術の98.3%）は胸腔鏡下手術のみで行った手術で、胸腔鏡下手術の完遂率（最初から最後まで胸腔鏡下手術のみで行った割合）は99.6%でした。もちろん入院後に行う手術の説明には十分な時間をとっておりますし、手術前に納得いくまで質問していただけるよう心掛けています。

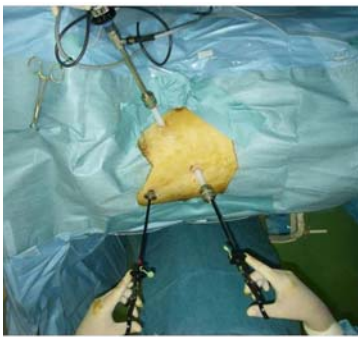
呼吸器センター外科　医長
藤森　賢　平成9年卒

＜専門分野＞
呼吸器外科学全般、
特に低侵襲手術（胸腔鏡下手術）

＜資格・所属学会等＞
日本外科学会 外科専門医・指導医
日本呼吸器外科学会 呼吸器外科専門医･評議員
日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医・指導医
日本がん治療認定医機構 暫定教育医・認定医
日本内視鏡外科学会 評議員
肺がんCT検診認定医師

図２：胸腔鏡下手術の術中写真

図３：3-port 胸腔鏡下手術の創部

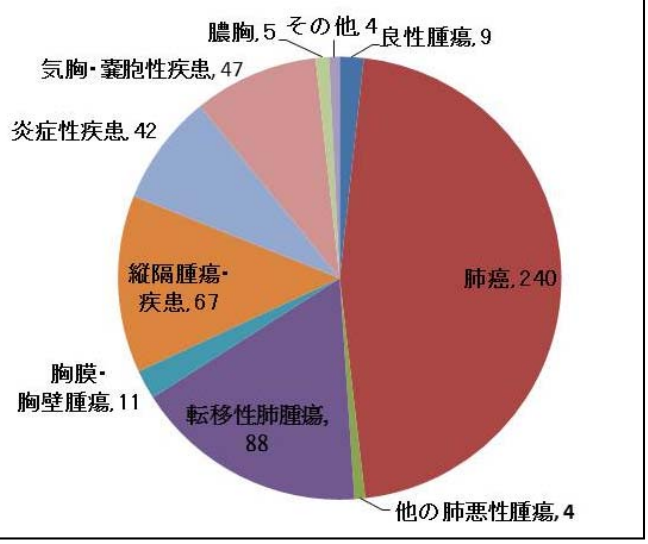


3. 胸腔鏡下手術の適応

現時点では、原発性肺癌はc2B期まで（腫瘍径7cm位、リンパ節転移疑いが腫瘍近くまでcN1、全身に転移巣がない）、転移肺腫瘍は両側肺で計9個位まで（大きさや場所等にもよる）、縦隔腫瘍は腫瘍径10㎝位までとしております。両側の肺腫瘍に対しても積極的に両

側一期的胸腔鏡下手術を行っております（全手術の約7%）。また当科では胸腔鏡下手術を専門としていますが、病気の進行状況次第では手術自体がお勧めできないこともありますので、早期の受診が重要となります。2014年に実際に当科で手術を行った517件（胸腔鏡下手術は503件）の疾患別内訳は、原発性肺癌240件（46%）、他の肺悪性腫瘍4件、転移性肺腫瘍88件（17%）、縦隔腫瘍67件（13%）、炎症性疾患42件（8%）、気胸・嚢胞性疾患47件（9%）等でした（図４）。

図４：2014年の疾患別手術件数の割合



4. 他の診療科との連携

当院は総合病院であり、基礎疾患（糖尿病、心臓疾患、膠原病、脳疾患、間質性肺炎等）がある場合でも、術前から術後まで他専門科と十分に連携しながら診療を行うことができます。胸腔鏡下の手術中も、卓越した麻酔科医が全身麻酔をサポートいたしますので、短時間で安全な手術を提供することができます。

早期発見であれば肺癌や悪性縦隔腫瘍でも胸腔鏡下手術で十分に根治する時代になりました。しかし、最終病理結果（ステージング）によっては術後追加治療をお勧めすることもあります。その場合も呼吸器センター内科、臨床腫瘍科、放射線治療科等と連携することで集学的治療を行っております。

5. 手術前の外来診察等について

現在呼吸器センター外科では、患者さんをお待たせしないように（がん手術は1日でも早い方がよいため）、日々手術（月・火・木・金の週4日、1日3～4件）を行っています。そのため外来日は水曜日、金曜日の午前中のみですが、呼吸器センター内科と連携しながら診察を行っております。またセカンドオピニオン*にも対応しておりますので、お気軽にご相談ください。（*編集部注：セカンドオピニオンの窓口は医療連携部です。）

1999年以降、5000例以上の胸腔鏡下手術を実施し、この術式が早期の社会復帰につながると実感しています。2016年1月の公開講座で、もう少し「胸腔鏡下手術」について知っていただき、手術に対するイメージが良いものに変われば幸いです。是非、皆さまのご参加をお待ちしております。

…詳しくは公開講座へ…

2016年1月の公開講座

講師：呼吸器ｾﾝﾀｰ外科　藤森　賢　医長

日時：1月16日（土）14時～15時30分
場所：虎の門病院本院　本館３階講堂

****
虎の門病院では定期的に一般の方向けの公開講座を開催しています。どなたでも（虎の門病院を受診していない方でも）ご参加いただけます。

講師は虎の門病院所属の医師が担当し、講演後には質問もお受けいたします。

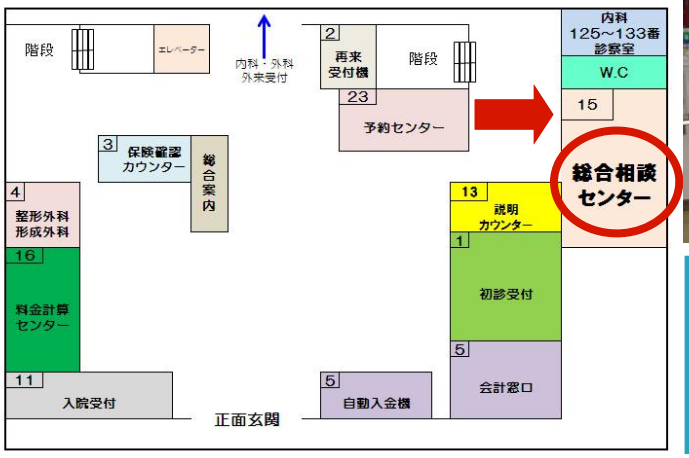
申込み不要・入場無料、
皆さまのご参加をお待ちしております。

虎の門病院　公開講座　検索

本院　総合相談センターのご案内

本院の総合相談センターでは、患者さんや医療機関の皆さまからのご相談をお受けしています。ご相談内容に応じて、ソーシャルワーカー・専任看護師・医療連携事務職員が対応いたします。また、かかりつけの先生方や医療機関からの初診予約も承っております（紹介患者予約）。ぜひご活用ください。

（場所のご案内）
本館１階、正面玄関から向かって右手奥にある「 説明カウンター」隣が入り口です。



総合相談センター
（写真左）入口
（写真右）窓口ブース

＜受付時間　平日8：30～17：00＞
※紹介患者予約は下記サイトもご参照ください※
http://www.toranomon.gr.jp/medical/medical_relation/

＜窓口のご案内＞

窓　口　名	内　　容
患者相談	患者さん・ご家族の皆さまからの様々なご相談やご意見をお伺いしています。当院のセカンドオピニオン外来の受付も行っています。
がん相談	がんに関する一般的な情報提供や医療費の問題、日常生活や療養に関する悩みについてのご相談をお受けしています。
肝疾患相談	肝疾患に関する一般的な情報提供、医療費助成や日常生活などについてのご相談をお受けしています。
医療社会福祉相談	療養生活に関するご相談、社会資源（公的保険制度等）の利用方法、転院先などについてのご相談をMSW・ソーシャルワーカーがお受けしています。
医療安全相談	医療安全に関するご相談やご意見をお受けしています。
人間ドック予約	健康管理センターの予約窓口を本院内にも設け、人間ドック受診に関するご相談やご予約をお受けしています。
医療連携部	ほかの医療機関からのご紹介による診療・検査の受付、近隣のかかりつけ医紹介などのご相談をお受けしています。

ヘミングウェイ『移動祝祭日』

元精神科部長　栗原　雅直

昨年11月のテロ以来、パリでは急にヘミングウェイの自伝的小説『移動祝祭日』が売れ出したそうである。彼はイリノイ州オークパーク（現シカゴ市）で生まれたが、高卒後カンザス州の新聞社の見習い記者になって北イタリア戦線に従軍、重傷を負った。この辺のいきさつが『武器よさらば』『日はまた昇る』などの作品になっている。やがて作家になることを決意し、トロントのデイリー・スター紙に就職し、パリ特派員になった。『移動祝祭日』には、当時パリにいたアメリカ人の作家たち、大先輩のスターン女史、エズラ・バウンド、フィッツジェラルドなどとの交流が描かれている。

作品は「もしきみが幸運にも/青年時代パリに住んだとすれば/きみが残りの人生をどこで過ごそうとも/パリはきみについてまわる/なぜならパリは/移動祝祭日だからだ」という言葉で始まっている。当時パリのモンパルナスには「失われた世代」と評される自称詩人や作家たちが、大酒をのんで青春を謳歌していた。ヘミングウェイは競馬で大儲けしたりして遊びまわったが、本国に記事を書き送り自分の創作に熱中していた。その点彼は、遊民たちとは一線を画していた。彼の文章の簡潔さ読みやすさは、当時の修行の賜物である。

移動祝祭日とは、われわれには聞きなれない言葉だ。復活祭が典型例で、ユダヤ教の過ぎ越しの祭りに起源を有するこのお祭りは、「春分の日の後の最初の満月の次の日曜日」と西方教会で定義されるため、3月22日から4月25日までと年によって大移動する。

ヘミングウェイ（Ernest Miller Hemngway1899-1961）は魚釣りや狩猟、ボクシングなどが趣味だった。行動的でマッチョな人間と一般には思われているが、しかし子供の頃、姉と同じ服装で育てられたためか、いささか倒錯的な感性も潜んでいそうである。孫の一人が男から女に性転換手術を受けたのも、いささか関係ありそうなのである。父は医者、母が声楽家という家庭だったから、本来の彼はデリケートな教養人で、他人の気持ちへの配慮にも富み、多くの人たちから愛された。

当時のパリはインフレでドルの使いでがあったため、彼は勤勉に執筆活動に励むかたわら、バーボンウィスキーや（のちにキューバに移住して大物の魚釣りをするようになってからは）ダイキリなどをあきれるほど飲んだ。これがのちの内臓障害や躁うつ病に関係しているだろう。

私は一昨年の年越しをパリで過ごした。そのとき宿を左岸にとって、ヘミングウェイゆかりの場所を何か所かへめぐった。最初がコントルスカルプ広場で、そこは彼のアパートや仕事場のすぐそばにあたり、彼はキャフェでパリのただずまいを観察し、執筆していた。ここから南方は、だらだら下ってムフタール街になっているが、パリの庶民的な猥雑さが特長な地区で、大勢の買い物客で賑わっている。

モンパルナス大通りの外れのキャフェ「クロズリー・デ・リラ」も、彼がよく通った場所で、テーブルには有名人の名前を刻んだ真鍮板がはめ込まれている。私たちは最高級のかきのブロンを、やっと2人で半ダース味わってみたが、昔よりずいぶんお高くなっていた。

キャフェの裏手にあるネイ将軍の像は有名で、いろんな作家が言及している。彼はナポレオン麾下でもっとも勇敢な元帥だったが、ウオーテルローの決戦で大敗北を喫し、ナポレオンの時代は終わりを告げた。王政復古ののち、ルイ18世の命により、彼は銃殺刑になったが、像は処刑の場所に立っている。日本人では藤村やFoujitaも、リュクサンブール公園の散歩がてら、この辺を訪れている。

そこからモンパルナスの盛り場を通りすぎてサンジェルマンに行けば、彼がよく通ったキャフェ・リップがある。1944年ノルマンディー作戦のあと、彼は勝手に第一線の先頭に立ち、万年筆と小銃の両方を持ちながら、勇敢にアメリカ軍の中で戦った。パリ入城のとき彼は最初にサンジェルマンに到達したが、リップに入って解放宣言をした話が有名である。ここで私はカキを半ダース頼んで、サンセールの白ワインとともに味わったが、なかなか心にこもったサービスだった。彼がさらに解放した豪奢なリッツ・ホテルは、ご身分と財布の厚みが違いすぎるので、残念ながら敬遠。

このホテルで30年ぶりに見つかった彼のトランクの中身を材料に『老人と海』を書くことによって、彼は1954年ノーベル文学賞を受賞している。

その後彼は何回も交通事故で重傷を負った。また長年の飲酒のためか肝臓・腎臓・糖尿を病んで苦しみ、最後には猟銃自殺を遂げている。彼の父親も同じ死に方だったので、やはり躁うつ系の遺伝因子も関係しているものと思われる。

パパ・ヘミングウェイ
（河出書房『世界文学全集』より）

1909年のクロズリー・デ・リラ
（ウィキペディアより）

キャフェ・リップ
（ウィキペディアより）

虎の門病院付属 健康管理センター・画像診断センター

☆☆人間ドックの割引☆☆

今年も期間限定（2016年2～5月）で人間ドックの割引をいたします。

☆季節割引

3,240円引き

対象受診期間： 2016年2月1日～5月31日
対　象　者 ： 人間ﾄﾞｯｸ（胃ﾊﾞﾘｳﾑ/胃内視鏡/胃検査無）ｺｰｽ受診者
料　　金 ： 通常のコース料金より3,240円(税込）引き
※オプション検査は割引対象外です。

（季節割引料金：税込）

コース名	通常料金	割引後料金
胃バリウム	70,200円	66,960円
胃内視鏡	73,440円	70,200円
胃検査無	52,920円	49,680円

☆インターネット予約ペア割引

インターネット予約限定
10%引き

お二人そろえば、もっとお得。
ご夫婦・ご兄弟・ご友人等どなたとでもどうぞ。

対象受診期間： 2016年2月1日～5月31日
対象者 ： ｲﾝﾀｰﾈｯﾄから「2名様同時予約」でご予約された、
人間ﾄﾞｯｸ（胃ﾊﾞﾘｳﾑ/胃内視鏡/胃検査無）ｺｰｽ受診者
料金： 通常のコース料金より10%引き

（ペア割引料金：税込）

コース名	通常料金	割引後料金
胃バリウム	70,200円	63,180円
胃内視鏡	73,440円	66,096円
胃検査無	52,920円	47,628円

※お二人同日受診が条件です。
　キャンセル・変更等で同日受診でなくなった場合は、季節割引料金の適用となります。
※共済組合員・ご契約団体の方は対象外です。その他各健保組合の割引助成制度との併用は出来ません。
※オプション検査は割引対象外です。
※先着順で予約がいっぱいになり次第終了とさせていただきます。
※インターネットで３名様お申込みの場合は２名様「ペア割引」、１名様「季節割引」になります。

☆人間ドックのお申し込みは こちらへ！！

健康管理センター・画像診断センター

TEL：**03-3560-7777**（平日11：00～16：30）
インターネット：**http://www.toranomon-dock.jp/**

虎の門 ドック　検索

スマートフォンからも予約できます！

病院内窓口
本院：本館１階　総合相談センター内　人間ドック申込窓口
分院：外来棟１階　分院医事課

＊健康管理センター・画像診断センター受付は、銀座線虎ノ門駅Ｃ３出口直結、清和ビル８Ｆにあります。

がん相談窓口（がん相談支援センター）のご案内

- 相談時間　月曜日～金曜日　9：00～16：00
  ＊土・日・祝日・年末年始・開院記念日（5/20）を除く
- 場所　虎の門病院本院　本館１階総合相談センター内
- 相談料　無料
- 対象 がんの患者さん・ご家族等
- 相談方法　電話相談・面接相談（面接相談 要予約）

相談電話番号・お問い合わせ先　03-3588-1171

当院でセカンドオピニオンの提供を受けたい方へ

他の病院におかかりの患者さんで、ご自分の病状や治療方針について現在おかかりの医師以外の意見をお求めの方へ対し、当院各科専門医（部長・医長クラス）による特別相談をお受けしております。（完全予約制、紹介状必要）

（料金）30分：21,600円（延長15分毎：10,800円追加）
（担当）本院医療連携部　03-3588-1111 内線4106
分院医療連携部　044-877-5111 内線5141

×６１－００３０